

ネギ畑で田代さん



「目立たない野菜」で就農

消費者の生活支えたい

東松山市の田代さん

ネギ栽培、消費者目線を大切に

【埼玉】「目立たない野菜を作りたい」という東松山市の田代有為子さんは、ネギを栽培する新規就農者。趣味のウォーキングから日本最大の国際大会が開催される東松山市を就農先に選んだ。

大学卒業後は流通や福祉関係などの仕事を経験。老人ホームの家庭菜園レクリエーションで入居者の認知症が改善されたのを目の当たりにし、農業という職業に興味を持った。

周年栽培が可能で一人でも出荷できるネギを選んだ。栽培技術の習得に

苦労したが、持ち前の行動力で地元の野菜農家に弟子入りし、農業資材の販売会社が開催する講習会でも技術を学んだ。

「目立たない野菜」とは「普段は意識せずに買われている普通の野菜で消費者の生活を支えた」という田代さんの思いを表している。「市内すべてのスーパーに自分の野菜を出荷することを目標に規模拡大中だが、どれだけ忙しくても出荷は自ら行う。「お客さまのニーズを拾える絶好の機会」と消費者目線を大切にしている。